Vol. 15　R4.8.22-26

『キャンプ砂防2022』を開催！（1/2）

砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2022』が開催されました。

今年度の『キャンプ砂防』は、立山砂防事務所と黒部河川事務所が合同で実施し、歴史ある砂防の地「立山」と秘境「黒部峡谷」の砂防事業について現地視察や工事現場での施工を体験し、砂防事業の重要性・必要性の理解を深めました。

開 催 日：令和４年８月２２日（月）～２６日（金）５日間
場　　所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）
参 加 者：大学生、大学院生　４名
（信州大学、日本大学、筑波大学、信州大学大学院）
主　　催：立山砂防事務所、黒部河川事務所
協　　力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

立山カルデラ砂防博物館

開　講　式

事業説明

SABO展示室

地域行政視察

「立山砂防」　テーマ：歴史ある砂防の地「立山カルデラ」を実際に見て、体験し、理解を深めよう!

Vol. 15　R4.8.22-26

『キャンプ砂防2022』を開催！（2/2）

砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2022』が開催されました。

今年度の『キャンプ砂防』は、立山砂防事務所と黒部河川事務所が合同で実施し、歴史ある砂防の地「立山」と秘境「黒部峡谷」の砂防事業について現地視察や工事現場での施工を体験し、砂防事業の重要性・必要性の理解を深めました。

開 催 日：令和４年８月２２日（月）～２６日（金）５日間

場　　所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）

参 加 者：大学生、大学院生　４名
（信州大学、日本大学、筑波大学、信州大学大学院）

主　　催：立山砂防事務所、黒部河川事務所

協　　力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

「黒部河川」　テーマ：秘境「黒部峡谷」における砂防事業について考える！

黒部峡谷鉄道　欅平駅

欅平監督員詰所

測量機器現場実習

測量機器現場実習

ドローン操縦体験

祖母谷第２号砂防堰堤

宇奈月ダム

宇奈月ダム管理事務所

宇奈月ダム内部見学

宇奈月ダム排砂ゲート

海岸事業視察
（黒部市生地地先）

海岸事業視察
（入善町芦崎地先）

研修レポート作成

成果報告会及び閉講式

主催者挨拶
河原副所長
（黒部）

成果報告会

終了証書授与

研修レポートでの意見・感想（抜粋）

- 全国的にも特殊な地形における砂防事業について学ぶことができ、大変有意義だった。閉鎖的な窪地に大量の砂防施設が存在している光景を目にして、何が何でも下流への被害を防ぐという意気を感じた。
- 立山は私が想像していた以上に厳しい山であった。安政５年の地震による崩壊土砂が今もなお半分近く不安定な状態で堆積している点や常願寺川の日本屈指の急流の激しさを自分の目で見ることで感じた。砂防の事業を展開するのが難しい場所であった。
- 日本有数の河川勾配、崩壊の起きやすい地形条件、多雨、多雪とう厳しい自然条件、施工期間も限られた日数の中で様々な工夫のもと下流域または流域全体を守るためにご尽力されているということを知ることができた。
- 砂防事業で人命を守ることと自然環境の保全を両立させる事はなかなか難儀であると思えた。砂防の使命を果たしつつ、環境のプロとその案を代替できる人材も要るのかなと思えた。

キャンプ生の皆さま、お疲れさまでした。